

堀川再生のための連携プロジェクト 第4グループ 第6回会合議事録

1. 全体概要

日 時：平成 18 年 10 月 28 日（土）14 時～15 時 30 分

場 所：名古屋工業大学 24 号館 116 号室

参加者：[名古屋市]加藤丈晴、[国交省]太田均、[名古屋市立大]及川 理、[名工大]和久明正、篠田藍子、
小池隆之、兼松健治、吉田 尚、（欠席）徳永東三、佐伯 正、原 陽平

2. ワークショップ

1) 前回の議事録と、今回の検討内容の確認。

2) 配付資料

(1) 加藤案：パンフレット堀川

CDROM おーい堀川 - 堀川まちづくり -
堀川ミュージアム

(2) 兼松案：堀川 探検隊

(3) 小池案：空を見上げてごらん。アッ～が飛んでいる

3) 審議内容

和久：本日は、パンフレット作成について話し合います。ブレーストーミング方式で行います。思いつきで結構です。論理的矛盾があっても結構です。他人の意見には批判をしないというルールで、どんどん意見を言ってください。

（加藤さん持参の堀川を題材とした教育用の CDROM 2 種類を上映し、全員で内容を確認した）

兼松：（兼松案を説明した）

実際に川に行った時に見られないと悲しいので、生物は実際によく見られるものを載せるべきだと思う。

和久：「勢田川観察日誌」が書き込めるようになっており、兼松案に似ている。

加藤：（加藤案の中の、堀川における生息する生物のデータ（魚類・鳥類・底生生物調査結果表）を見ながら）このデータを見ると、外来種が多いことや、絶滅危惧種もいることが分かる。オオタカ、ハヤブサは通過だと思うが、コアザシは生息している。

このデータを基に学生諸君はアレンジして表現してほしい。たとえば、底生生物などを分かりやすく表現してほしい。

及川：（加藤案の表紙の写真について）堀川には、川の中に入れるイメージが無いので、良い写真だ。

加藤：兼松君のパンフレットでは特に何を伝えたい？

兼松：生き物中心で+ で「佃煮」の話とかを載せたい。地上から見ると見えない生物も、中に入ると見えることもあり、新しい発見になる。載せる生物をどう選ぶかを悩んでいる。地上からはカメと水鳥しか見えない。

及川：環境とは離れるが、「都市河川」という堀川の特徴（交通の便など）を活かしたい。自然の多い河川はそれだけアクセスも大変だが、堀川なら手軽に訪れることができる。

和久：堀川は、名古屋市民の生活に身近な存在になっていることをアピールしたらよい。

太田：（都市河川にしては）生物が思った以上にいると感じるか（または全然いないと感じるか）興味がある。

加藤：一般の人は、「いない」というイメージの方が大きいと思う。

及川：「上流と下流の違い」を示せば面白いと思う。

太田：上流と下流の区別は、どこでつけるのですか？

加藤：落差工のある猿投橋が、上流と下流のさかいです。

加藤案の「生息する生物のデータ」を説明します。ローマ数字は「清流ルネッサンス」における堀川のゾーン分けです。

と は、いろいろな魚や、淡水魚がいる。

は、小塩橋からはほとんど生物が見えなくなる。

は、海の魚がいる。 ではこのような調査を一般の人が行うのは無理です。

これは、エクマンバージ採泥器を使ってガバートと採取し、調べた。生息生物は短期間で変わるものではないので、次回調査は来年か再来年になると思う。植物は水質の改善を表す指標になりえないため、調査を行っていない。自分の意見として、庄内川から導水したことによって、一番変わったと思うのは、柳藻が増えたことだと思う。

及川：底生生物の写真は、幼虫では分かりにくいので、成虫も合わせて載せたほうがいい。

加藤：鳥は通過があるから評価が難しい。カワセミはいる。植物は国村さんの本にまとまっている。

及川： と の違いは？

加藤： までは上流から流した水(淡水)が届く。

及川：(CDROMの鳥類マップを見ながら)絵に数字を振れば名前も見てくれるのでは？

篠田：パンフレットに載せるものは、頻繁に見えるものがいい。

及川：作成の基準は「分かりやすく見つけやすいもの」がよい。また季節との関係も大切だ。

加藤：カワセミは小さいし、なかなかいない。多いのは川サギとカモ、河口ではカモメ。お城の曲がり角のところにはいろいろいる。

及川：90度のカーブは川では珍しい特徴だと思う。交通の便もいいし、城の眺めもいい。

和久：しかし、カーブのインコースはヘドロが多く堆積している。

加藤：載せるものは「生物」は載せるとして、「水質」「歴史」をどうするか？

それと「役割分担」をどうするか？(鳥担当、魚担当など)

兼松：ゴミの写真を載せれば「水質」に関する問題提起になる。

和久：水質の指標のBOD、CODよりも、ゴミの方が直感的に分かりやすくてよい。

及川：「歴史」については、いつ、何のために作られたかを載せた方がよい。

太田：多くの情報はマップには書ききれないから大雑把にした方がよい。

加藤：次回までに各自で自分の作りたいものの試作版を作ってきてください。(1ページ前後)

4班オリジナルとして作成するので、書式等は自由です。

和久：次回の会合予定は、次の通りとします。

日時：11月18日(土)午後2:00~4:00

場所：名古屋工業大学 24号館116号室

議題：パンフレット作成作業(その2)

(各自案を持ち寄り、討議する)

以上